



県内での宿泊客の増加

主担当部局：観光局



目指す姿

新しい魅力づくりを進め、ゆっくりじっくりと楽しめる観光県を目指します。



●平成31年までに、
観光入込客数を

4,200万人
にします。

(平成26年:3,811万人)

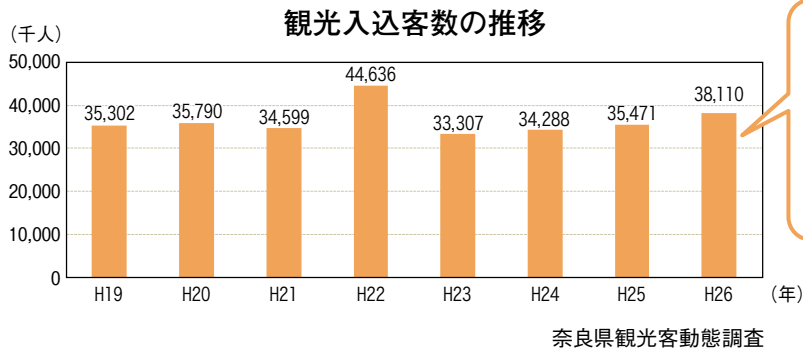
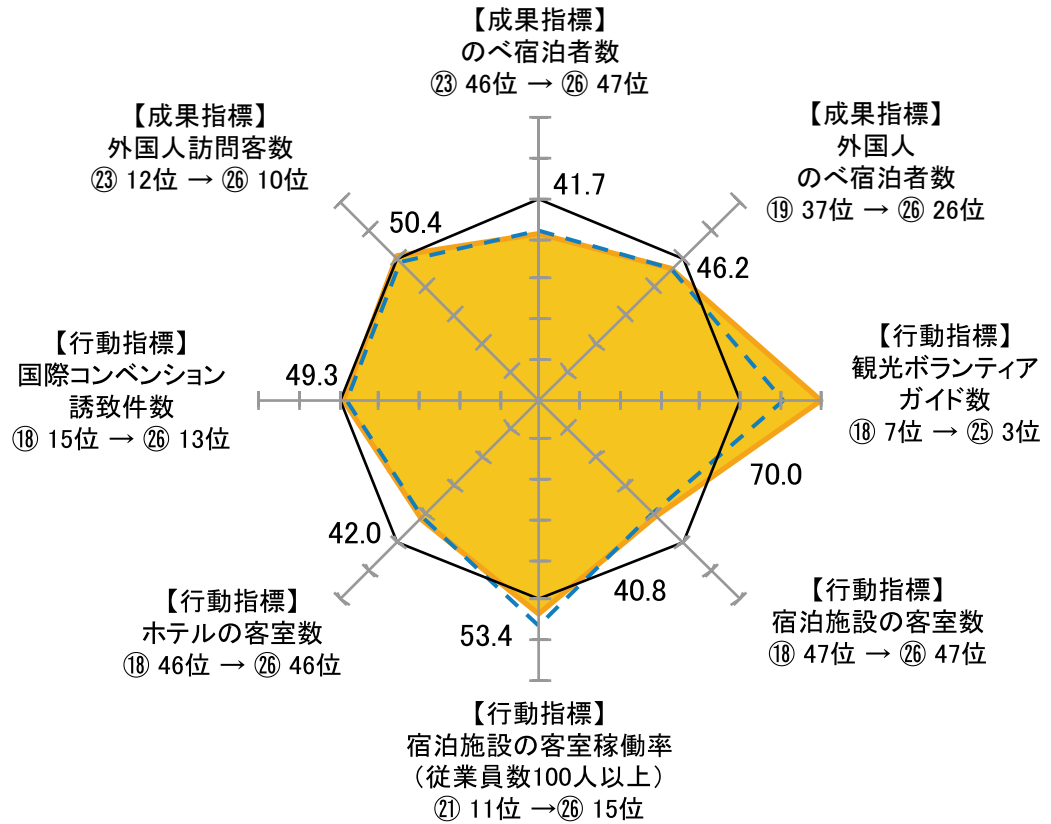
●平成31年までに、
のべ宿泊者数を

280万人
にします。

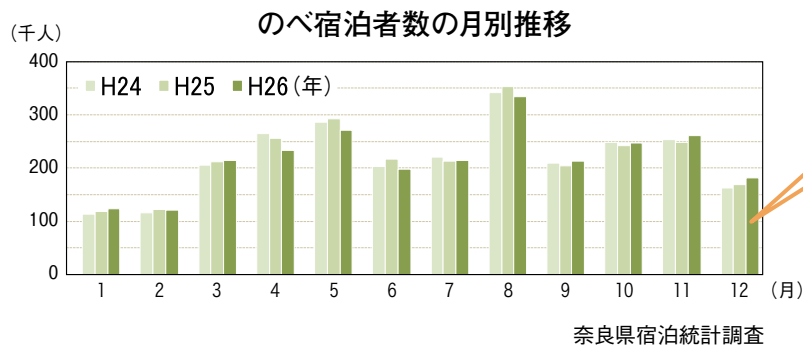
(平成26年:227万人)

分析

■ 主な指標



平城遷都1300年祭の反動減、東日本大震災や紀伊半島大水害といった災害の影響により一時落ち込みが見られましたが、平成24年以降回復傾向にあります。



オフシーズン (12月～2月、6月・7月) に大幅に減少しています。

戦略1

意欲ある観光関連事業者とともに、観光産業の活性化やおもてなし環境の充実を図り、奈良で宿泊する周遊型観光を推進します。

主担当課：観光局 ならの観光力向上課

戦略目標

- ▶平成27年度から平成32年度までに、新規に**客室数300室の増**を目指します。
- ▶平成28年度までに、**うまし奈良めぐり商品造成・販売人数を25,000人**にします。(平成26年度：11,936人)

取り組み

宿泊産業の育成・支援

大宮通り新ホテル・交流拠点の整備

奈良の美味しい「食」づくり(食の魅力向上)

魅力ある「奈良の土産物」の創出・発掘・発信

祈りの回廊～秘宝・秘仏特別開帳の推進

奈良盆地周遊型ウォークルートの造成

中南和の魅力振興

まちをきれいにする取り組みの推進

自転車を活用した取り組みの推進



奈良フードフェスティバル 2015 (シェフェスタ)



大宮通り新ホテル・交流拠点



奈良県年金旅行ファミトリップ



オーベルジュ・ド・ぶれざんす 桜井

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
宿泊産業の育成・支援				
◎「うまし奈良めぐり」の商品造成・販売		商品造成・販売		
◎宿泊施設（ホテル、旅館、ゲストハウス等）への宿泊促進		効果的な情報発信等による運営支援		
◎団体旅行誘致		年金ファミトリップ、団体旅行担当者へのセールス等		
◎修学旅行の誘致促進		教員向けモニターツアーの実施、エージェントへのセールス等		
◎多様な宿泊施設の創出と宿泊施設の新たな魅力づくりを総合的に支援		融資制度等による設備充実支援		
◎農家民宿への支援		開業支援、情報発信		
◎（仮称）観光サービス改善委員会		● 設置	運営	
大宮通り新ホテル・交流拠点の整備		整備の推進		
奈良の美味しい「食」づくり（食の魅力向上）				
◎奈良フードフェスティバルの開催		継続開催		
◎眺望のいいレストランの認定・支援	● 追加認定	支援		
魅力ある「奈良の土産物」の創出・発掘・発信				
◎奈良のお土産物発掘・プロモーション	奈良のお土産物コンテスト	県内・首都圏等での土産物のPR		
祈りの回廊～秘宝・秘仏特別開帳の推進		パンフレットの発行、特別開帳の実施		
奈良盆地周遊型ウォークルートの造成		ウォークルートの造成、案内サインの整備		
中南和の魅力振興				
◎雑誌、Web、映像等による情報発信		様々な媒体による情報発信		
◎三重県・和歌山県と連携した「吉野・高野・熊野の国」の展開		誘客に向けたプロモーションの実施		
◎「Kobo Trail ～弘法大師の道」の開催支援		「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングレースの開催支援		
◎観光振興に資する道路整備の推進		観光地へのアクセス性の向上		
まちをきれいにする取り組みの推進				
◎奈良の景観創造の推進		奈良県植栽計画（「なら四季彩の庭」づくり）の推進		
自転車を活用した取り組みの推進				
◎広域的な自転車利用ネットワークの整備		（仮称）京奈和自転車道の整備推進		
◎自転車利用環境の創出		サポート施設の充実、レンタサイクルの実施		

戦略2

旅行商品づくりやイベントの充実により、宿泊オフシーズンの解消を図ります。
 主担当課：観光局 ならの観光力向上課

戦略目標

▶平成31年までに、**オフシーズン(12月～2月、6月・7月)のべ宿泊者数を105万人にします。**(平成26年：73万人)

取り組み

旅行商品の造成・セールス強化

オフシーズンにおける誘客促進

奈良だからこそできる音楽祭の開催

スポーツツーリズムの推進



ムジークフェストなら 2015



奈良マラソン 2015

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
旅行商品の造成・セールス強化	→			
オフシーズンにおける誘客促進		夏・冬商品の造成・セールス強化		
◎奈良県観光キャンペーンの展開	→			
◎「奈良大立山まつり」の開催		年2回(春・秋)実施		
奈良だからこそできる音楽祭の開催		継続開催		
◎「ムジークフェストなら」の開催		継続開催		
スポーツツーリズムの推進				
◎奈良マラソンの開催による国内外からの誘客促進		継続開催		
◎全国高校ラグビー(花園ラグビー)大会出場校選手等の県内への宿泊誘致		セールス・おもてなしの実施		

戦略3

ターゲットを明確にし、奈良の魅力を効果的に発信し、観光客及びコンベンションの誘致を推進します。

主担当課：観光局 観光プロモーション課

戦略目標

▶ 平成31年までに、**首都圏からの宿泊者の比率を35%にします。**
(平成26年：33.7%)

取り組み

首都圏等からの誘客の促進

多彩なツールを利用した情報発信

中南和・東部地域の観光情報発信機能強化

社寺の魅力の情報発信

県内の魅力あるルートを紹介する「歩く・なら」の推進

記紀・万葉プロジェクトの推進

コンベンションの誘致

案内サインの整備促進



首都圏プロモーション



JA ならけんまほろばキッチンでのイベント

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
首都圏等からの誘客の促進				
◎首都圏等での情報発信	奈良まほろば館、主要駅等で奈良の魅力を効果的な情報発信			
◎奈良県観光キャンペーンの展開(再掲)	年2回(春・秋)実施			
多彩なツールを利用した情報発信				
◎デジタルサイネージ等による観光情報等の発信	タイムリーな情報発信			
◎各種メディアを活用した情報発信	インターネット、雑誌、スマートフォン等による情報発信			
◎ドライバー向けの周遊観光情報の提供	観光情報の提供			
中南和・東部地域の観光情報発信機能強化	JAならけんまほろばキッチン内観光案内所における情報発信			
社寺の魅力の情報発信	「祈りの回廊～秘宝・秘仏特別開帳」を軸に推進			
県内の魅力あるルートを紹介する「歩く・なら」の推進	ルートの充実、ルートマップ・解説の作成			
記紀・万葉プロジェクトの推進				
◎親しみやすい情報発信の定期・継続実施	「なら記紀・万葉名所図会」の制作等			
◎イベントによる情報発信	「古事記のまつり」・「(仮称)ヤマト撫子大学」の開催等			
コンベンションの誘致	セールス活動・開催支援			
案内サインの整備促進				
◎観光案内サインの充実	統一した案内表示の整備推進			
◎多言語表示の推進	市町村や観光関連事業者への助言等の実施			

主要プロジェクト
4

戦略4

地域資源を活用した観光基盤の整備とにぎわいづくりを推進します。

主担当課：まちづくり推進局 奈良公園室

戦略目標

▶平成31年までに、奈良市への観光入込客数を1,580万人にします。
(平成26年：1,414万人)

取り組み

主要プロジェクト
6

大宮通りプロジェクト



なら燈花会



若草山焼き



しあわせ回廊なら瑠璃絵



平城京天平祭・春 天平行列



平城京天平祭・夏 光のオブジェ



平城京天平祭・秋 花の展示

馬見丘陵公園のにぎわいづくり



馬見チューリップフェア



シェフスタ in 馬見



馬見フラワーフェスタ

飛鳥京跡苑池の遺構整備



飛鳥京苑池（南池中島と柱列）



飛鳥京苑池（南池のイメージ図）

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
大宮通りプロジェクト				
◎奈良公園の魅力向上				
・自然資源の保存 良好な自然環境の保存		奈良公園植栽計画・春日山原始林保全計画の策定・実施		
		奈良のシカ保護管理計画の策定・実施		
・吉城園周辺整備や鹿苑の改修等		整備の推進		
・コンベンションによる振興 魅力あるコンベンション機能充実のための施設整備		奈良春日野国際フォーラム(旧奈良公園管理事務所)の改修・供用		
・移動の円滑化 安全・安心な歩行環境の整備		歩道整備の推進		
電子案内板等により観光情報を発信		電子案内板の設置・運営		
・にぎわいづくり 〈夏〉なら燈花会等の実施		なら燈花会、ライトアッププロムナード実施		
〈冬〉なら瑠璃絵等の実施		なら瑠璃絵、冬花火の祭典の実施		
・来訪者の満足度の向上 旅行商品等の企画・実施		社寺の観光コンテンツ開発及び情報発信		
◎猿沢池周辺のにぎわい創出 ・奈良県猿沢インのグランドオープン等	● プレ オープン	奈良県猿沢インの整備	● グランド オープン	
◎県庁舎周辺の整備 ・(仮称)登大路バスターミナルの整備等	設計		整備の推進	
◎ホテルを核とした賑わいと交流の拠点整備 ・大宮通り新ホテル・交流拠点の整備		整備の推進		
◎平城宮跡歴史公園の整備促進とにぎわいづくり ・平城宮跡歴史公園(県整備区域)の整備推進		整備の推進(平成29年度朱雀大路西側地区を供用予定)		
・第一次大極殿院の建造物(築地回廊及び南門、東西楼)復原を中心とした整備の促進		検討・調整・整備・段階的供用		
・平城宮跡における賑わいの創出		イベント実施(平城京天平祭(春・夏・秋))		
・平城京歴史館の運営及び改修拠点ゾーン機能充実のための施設整備	平城京歴史館の運営	拠点ゾーンの休憩・宮跡展望施設として改修・供用		
・阿倍仲麻呂「唐唐」1300年記念プロジェクト	イベント検討	イベント実施		
	映像制作	映像の公開		
・平城宮跡における歴史展示の展開		携帯型端末や、学習旅行バックを用いた展開		
◎大宮通りの修景整備 ・イルミネーションや花壇の整備等		花壇、街路樹、イルミネーションの修景整備		
◎大宮通りを中心とした交通対策 ・ぐるっとバスの通年運行等		主要鉄道駅と奈良公園や平城宮跡等の観光拠点を結ぶバスの通年運行		
馬見丘陵公園のにぎわいづくり				
◎馬見チューリップフェア、馬見花菖蒲まつり、馬見フラワーフェスタ、講習会等		イベント、講習会等の開催		
◎花のパノラマ景観の創出		春:チューリップ、夏:ヒマワリ、秋:ダリア・コスモス		
◎県民協働花壇の設置		募集・決定、活動		
飛鳥京跡苑池の遺構整備				
◎奈良の歴史展示の推進 ・飛鳥京跡苑池の公有化、復元整備		調整・整備		

戦略5

海外に向けたプロモーション及び情報発信を推進するとともに、外国人観光客の受け入れ・おもてなし環境の充実を図ります。

主担当課：観光プロモーション課

戦略目標

- ▶平成31年までに、外国人訪問客数を140万人にします。(平成26年：66.4万人)
- ▶平成31年までに、外国人のべ宿泊者数を33万人にします。(平成26年：14.5万人)

取り組み

外国人観光客向けの新たな情報発信・交流拠点の整備

外国人観光客向けの受け入れ・おもてなし環境の整備

官民一体となった外国人観光客の誘致

多様な媒体を活用した海外に向けた情報発信

積極的なMICE誘致の推進

友好提携先等と連携した国際交流の促進

外国人留学生の支援・連携



国際会議（第5回日アセアン特許庁長官会合）

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
外国人観光客向けの新たな情報発信・交流拠点の整備				
◎奈良県外国人観光客交流館の整備・運営		整備		運営
◎外国人観光客向け着地型ツアーの造成・実施				外国人観光客交流館発着ツアーの実施
外国人観光客向けの受け入れ・おもてなし環境の整備				
◎多言語案内表示の推進				統一した案内表示の整備推進
◎Wi-Fiスポットの設置促進				スポット拡大の推進
◎レベルの高い通訳ガイド等の育成・活用				研修実施、育成活用
◎ハイレベルなおもてなし対応ができる人材の育成				研修実施、育成活用
◎外国人観光客おもてなしイベントの開催				年1回(夏)実施
◎多言語コールセンターの運営				登録者増加
◎外国人観光客向け観光情報ツールの作成				情報発信
官民一体となった外国人観光客の誘致				
◎観光マーケティングの推進				プロモーション戦略の立案・実施
◎ビジット・ジャパン事業を活用した海外プロモーションの展開				関係府県等と連携実施

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
◎海外観光プロモーター・旅行商品コーディネーターによる海外からの誘客				プロモーター・コーディネーターとの連携実施
◎外国人富裕層市場の開拓				海外プロモーション実施
◎訪日教育旅行の推進				学校交流の推進
多様な媒体を活用した海外に向けた情報発信				
◎海外メディア等を活用した情報発信				ウェブサイト等活用・コンテンツ作成
積極的なMICE誘致の推進				
◎官民連携による国際会議等の誘致推進				奈良県国際会議・国内会議誘致推進本部による会議等の誘致
◎世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センターとの連携				UNWTO関連の国際会議等の誘致
友好提携先等と連携した国際交流の促進				観光交流・次世代交流等の実施
外国人留学生の支援・連携				
◎外国人留学生への支援				留学生交流室運営
◎外国人留学生による情報発信				留学生モニターツアー等の実施

これまでの成果

歴史的資源など地域の特性を活かした内容やインターネットなど様々な媒体を活用したPR活動により、平成27年に県内で開催された イベントに多数の来場者がありました。

- ・平城京天平祭(春)〔5/3～5/5〕**4万6千人**、(夏)〔8/28～8/30〕**3万6千人**、(秋)〔10/31～11/8〕**5万5千人**
- ・馬見フラワーフェスタ(同時開催:シェフェスタin馬見)〔10/3～10/18〕**14万4千人**
- ・奈良マラソン〔12/13〕**1万8千人(海外413人)**
- ・奈良マラソン2015EXPO〔12/12～12/13〕**9万1千人**
- ・若草山焼き〔1/24〕**19万人**
- ・なら瑠璃絵〔2/8～2/14〕**42万6千人**
- ・なら燈花会〔8/5～8/14〕**90万6千人**

★外国人観光客向けの拠点施設「奈良県外国人観光客交流館」(奈良県猿沢イン)を、平成27年7月に**一部オープン**しました。

主な指標の動き

■よくなっている指標

外国人のべ宿泊者数

51千人

(平成19年 全国37位)



145千人

(平成26年 全国26位)

海外プロモーション活動を強化したことなどにより、外国人のべ宿泊者数は大幅に増加しており、全国順位も上昇しました。

のべ宿泊者数

2,028千人

(平成23年 全国46位)



2,270千人

(平成26年 全国47位)

全国順位は低下しましたが、イベントの実施やオフシーズン対策などの取り組みにより、のべ宿泊者数は着実に増加しています。

外国人訪問客数

236千人

(平成23年 全国12位)



664千人

(平成26年 全国10位)

官民一体となった外国人観光客の誘致等により、外国人訪問客は一貫して増加しています。



奈良県猿沢インでの外国人観光客おもてなイベント(茶会体験)